

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

図書館を核とした活字と笑いで活気あるまちづくり事業

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

北海道中川郡幕別町

### 3 地域再生計画の区域

北海道中川郡幕別町の全域

### 4 地域再生計画の目標

#### 4-1 地方創生の実現における構造的な課題

①幕別町の精神疾患に係る自立支援医療の通院者の登録者数は、2011年の295人から、2015年は369人に増加している。増加の要因としては、働く世代のうつ病の増加や、若者の不安障害・パニック障害等の精神疾患が増えていることが原因として考えられる。

②高齢化率は2014年末で28.1%と十勝平均の27.6%より高く、社人研の推計では2040年に40.9%と推計されている。

③社会的弱者やお年寄りが気軽に立ち寄ることができ、土日祝日も地域社会と接しながら過ごせる場所は限られている。

#### 4-2 地方創生として目指す将来像

①幕別町では、図書館と地域を結ぶため、図書館を核にした地域づくり「図書館改革プロジェクト」に取り組んでいる。

②新たな図書館管理システムの導入と図書館Webリニューアルによる図書館支援システムの大幅な見直しを行っている。

③町民エディター養成による図書館からの情報発信など、サポーターの人材育成や地元書店からの書籍購入、福祉事業所との連携による障がい者雇

用の安定化や職場体験、更には高等養護学校との連携による図書展示や現場実習などに取組んでいる。

④平成28年度はストレス測定器などによる予防医療の啓発という、図書館における新たな社会モデルの構築に取り組んでいる。

人材育成、予防医療モデルの展開や社会的弱者への理解促進は、人づくりや安全・安心して暮らせるまちづくりに対し、図書館という新たな視点による取組みである。地域の知や人、情報の集積拠点であり、住民が気軽に立ち寄れる図書館がそれらの事業を展開していくことで、住民と行政の新たな接点が創出されるとともに、蔵書の23万冊という図書に繋げていくことで、抱えている課題解決への糸口を提供していくことができる。更には、図書館サポーターの活動の場を創出していくことで、図書館単独ではなく、地域住民や地域事業者の支援を受けた事業展開が可能となり、自主財源の確保を図ることができる。図書館と保健福祉部署が連携した事業展開を行うことにより、図書館を核として、誰もが輝く活気あるまちづくりを目指すものである。

**【数値目標】**

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
幕別町の住みやすさに対する満足度	62%	1%	3%	4%
まくべつブックサポーター数	20人	5人	5人	5人
職場体験による障がいのある方の一般就労移行者数	1人	0人	1人	1人
図書館サポーターの収入活動事業	0千円	180千円	720千円	100千円

	KPI増加分の累計
幕別町の住みやすさに対する満足度	8%
まくべつブックサポーター数	15人
職場体験による障がいのある方の一般就労移行者数	2人
図書館サポーターの収入活動事業	1,000千円

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

町民エディターによる地域情報の編集、図書企画展示やオリジナルグッズの企画を通して図書館サポーターのスキルアップと自主財源の確保を図る。また、保健福祉部署との連携による、図書館でのストレス測定と落語会、相談会の開催による予防医療モデルの啓発と展開を図るとともに、障がい福祉に関わる自立支援協議会との連携による講演会や雇用の促進を図り、図書館を核として、誰もが輝く活気あるまちづくりを推進する。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金（内閣府）：【A3007】

#### ① 事業主体

北海道中川郡幕別町

#### ② 事業の名称：図書館を核とした活字と笑いで活気あるまちづくり事業

#### ③ 事業の内容

①町民エディターとして養成してきた図書館サポーター活動の場として、地域情報アーカイブ誌作成のための誌面編集講座を開催するとともに、図書館企画展示に係る取材活動を実施し、その活動に係るスキルアップ（底上げ）と自主財源の確保を図る。

②ストレス測定及び落語による予防医療モデルの展開として、司書によるストレスケア図書資料の紹介に加え、保健福祉部署が新たに取

組む健康ポイント制度との連携や要相談者の保健師等への引継ぎを実施し、予防医療モデルの啓発と展開を図る。

- ③社会的弱者に係る理解促進事業として、職場体験や図書資料装備に係る福祉事業所の雇用安定化に加え、情報の発信・交換の場として、自立支援協議会との連携による講演会を開催する。
- ④有識者などによる図書館アドバイザー会議を開催する。
- ⑤障がい福祉施設と連携したオリジナルグッズの企画・販売や地域情報AR（拡張現実）プラットフォームの構築を行う。

#### ④ 事業が先導的であると認められる理由

##### 【自立性】

図書館サポーターや組織づくりを進めることで、各種取組みを行政単独ではなく、支援事業者の確保に繋げ、地域情報の編集作業に係る収入や、オリジナルグッズの企画・販売及び広告収入などで自主財源の確保を図る。

##### 【官民協働】

地域づくりの核となる新たな図書館運営全体に係るコーディネート、図書館と地域をむすぶ協議会のアドバイスを受けながら進める。また、民間事業者や商工会、金融機関のノウハウ・支援の提供を受ける。

##### 【政策間連携】

保健福祉部署が新たに取組む健康ポイント制度との連携により、継続的なストレスケアの取組みを進める。職場体験や自立支援協議会との連携による講演会開催により、社会的弱者への理解促進を図る。

##### 【地域間連携】

十勝東部4町図書館（豊頃町、浦幌町、池田町、幕別町）での連携事業を通して、社会問題（医療費や心の病患者的増加・障がい者の自立支援）を他町と比較するなど、共通課題として住民への啓発と共通認識を図る。

##### 【その他の先導性】

特になし

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
幕別町の住みやすさに対する満足度	62%	1%	3%	4%
まくべつブックサポーター数	20人	5人	5人	5人
職場体験による障がいのある方の一般就労移行者数	1人	0人	1人	1人
図書館サポーターの収入活動事業	0千円	180千円	720千円	100千円

	KPI増加分の累計
幕別町の住みやすさに対する満足度	8%
まくべつブックサポーター数	15人
職場体験による障がいのある方の一般就労移行者数	2人
図書館サポーターの収入活動事業	1,000千円

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

毎年、3月末時点でのKPIの達成状況を図書館が取りまとめる。

【外部組織の参画者】

図書館アドバイザー会議を構成する有識者や議会の関与を得ながら結果について評価、分析を行うとともに、検証結果報告をまとめる。

#### 【検証結果の公表の方法】

検証結果は、毎年度、町ホームページ等において公表する。

#### ⑦ 交付対象事業に要する経費

・ 第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 18,419千円

#### ⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日（3ヵ年度）

#### ⑨ その他必要な事項

特になし

### 5-3 その他の事業

#### 5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

#### 5-3-2 支援措置によらない独自の取組

該当なし

## 6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日

## 7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

### 7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

#### 【検証方法】

毎年、3月末時点でのK P Iの達成状況を図書館が取りまとめる。

#### 【外部組織の参画者】

図書館アドバイザー会議を構成する有識者や議会の関与を得ながら結果について評価、分析を行うとともに、検証結果報告をまとめる。

## 7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

### 【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
幕別町の住みやすさに対する満足度	62%	1%	3%	4%
まくべつブックサポーター数	20人	5人	5人	5人
職場体験による障がいのある方の一般就労移行者数	1人	0人	1人	1人
図書館サポーターの収入活動事業	0千円	180千円	720千円	100千円

	KPI増加分の累計
幕別町の住みやすさに対する満足度	8%
まくべつブックサポーター数	15人
職場体験による障がいのある方の一般就労移行者数	2人
図書館サポーターの収入活動事業	1,000千円

## 7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

検証結果は、毎年度、町ホームページ等において公表する。